

エンドポイント用AMPの重要な変更Windows Connector 7.4.1

内容

[Windowsサービス名の変更](#)

[インストールフォルダの変更](#)

[レジストリキーの変更](#)

[重要](#)

[WindowsコネクタをWindowsセキュリティセンターに登録する方法を変更します。](#)

概要

Windows Connectorのインストールのプロパティに変更があるほか、注意が必要な動作変更もあります。これらの変更については、以下で詳しく説明します。

Windowsサービス名の変更

Windows Connectorバージョン5.x.x ~ 7.3.xでは、対応するWindowsサービス名の末尾にバージョン番号が付加されています。

```
C:\WINDOWS\system32>sc queryex | find /i "SERVICE_NAME: Cisco"
SERVICE_NAME: CiscoSCMS_7.3.15
SERVICE_NAME: CiscoAMP_7.3.15
```

バージョン7.4.1以降では、Windowsサービス名の末尾にバージョンが追加されなくなります。

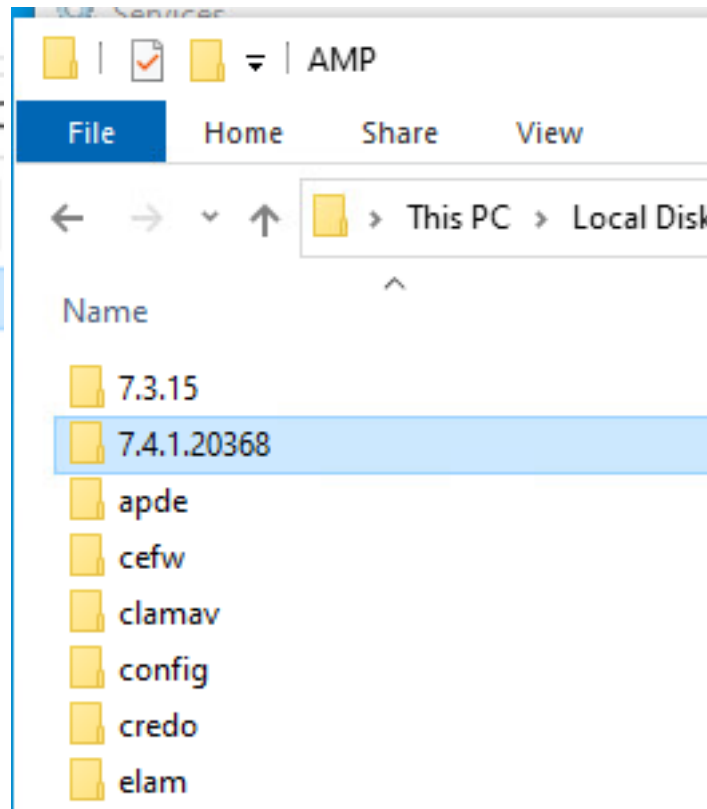
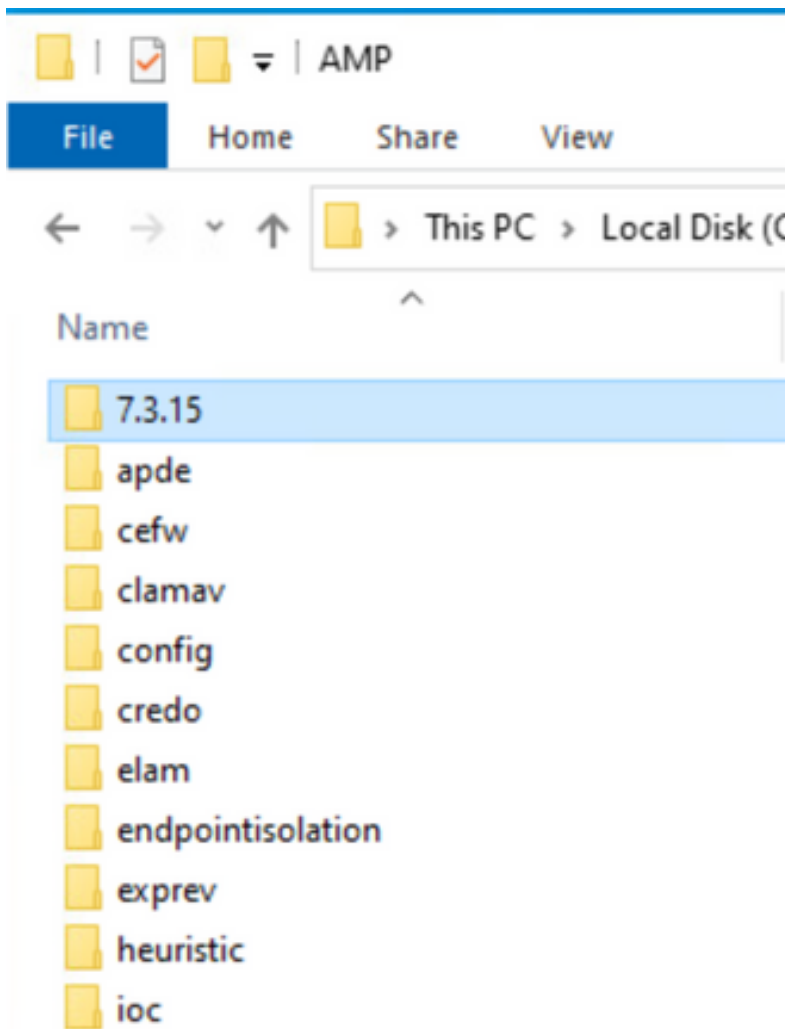
```
C:\WINDOWS\system32>sc queryex | find /i "SERVICE_NAME: Cisco"
SERVICE_NAME: CiscoSCMS
SERVICE_NAME: CiscoAMP
```

インストールフォルダの変更

Windows Connectorバージョン5.x.x ~ 7.3.xには、インストールフォルダ内にバージョン固有のフォルダが含まれています。7.4.1以降、このフォルダは引き続き存在しますが、フォルダ名に追加情報が追加されます。

バージョン5.x.x ~ 7.3.x (以前)

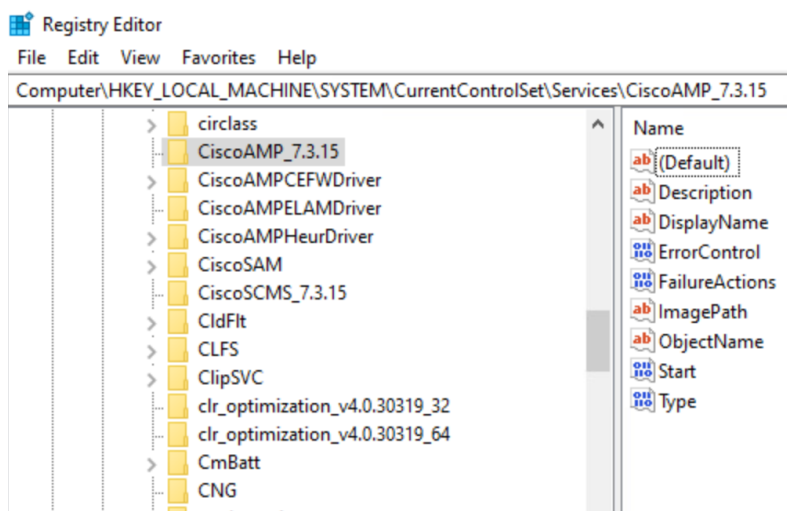
バージョン7.4.1以降 (以降)



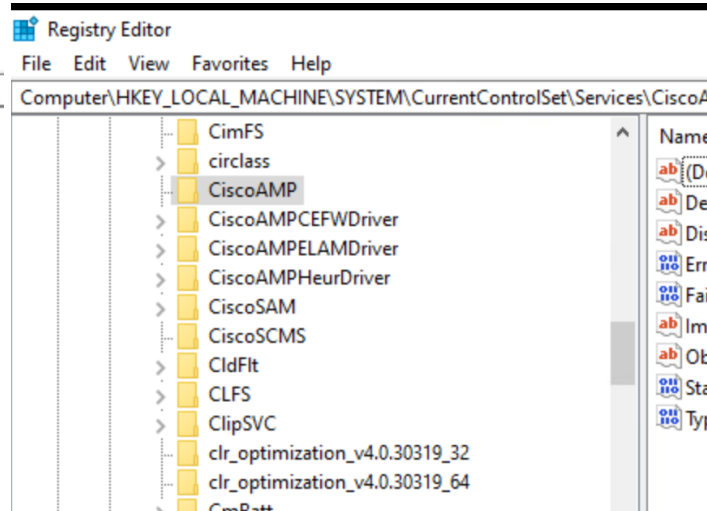
レジストリキーの変更

Windows Connectorバージョン5.x.x ~ 7.3.xには、対応するバージョンを含むレジストリキーがあります。7.4.1以降、これらのキーはレジストリキー名から削除されます

バージョン5.x.x ~ 7.3.x (以前)



バージョン7.4.1以降 (以降)



重要

上記のWindows Connectorのプロパティに依存するサードパーティツールまたはスクリプトは、バージョン7.4.1以降にアップグレードした後に更新する必要があります。

WindowsコネクタをWindowsセキュリティセンターに登録する方法を変更します。

Windows Connector 5.x.x ~ 7.3.xは、TETRAエンジンが有効で、最初の定義セットが完全にダウンロードされて適用された場合にのみ、Windows Security Centerに登録されます。

バージョン7.4.1以降では、TETRAエンジンの設定や定義の状態に関係なく、Windowsコネクタが自動的にWindowsセキュリティセンターに登録されるようになりました。